資料４

全国計画と県計画の比較

県_現行計画

基本目標

人生100歳時代に向けて、
全ての県民がともに支えあい、
安全で安心して暮らせる
「いのち輝く住まい
まちづくり」の実現

視点

「社会環境の変化」
「人・くらし」
「住まい・まちづくり」
「神奈川らしい住生活」

目標

目標１
目標２
目標３
目標４
目標５
目標６
目標７
目標８
目標９

記載省略

具体な施策

県_改定計画（案）

基本目標

人生100歳時代に向けて、
全ての県民がともに支えあい、
安全で安心して暮らせる
「いのち輝く住まい
まちづくり」の実現

基本方向

1．ライフスタイルに適した住まいを選択できる環境づくり
2．住宅確保要配慮者の安心な住まいの確保
3．既存住宅の有効活用と良質なストック形成
4．地域の魅力・資源を活かした住生活の推進
5．地域コミュニティの活性化によるいのち輝く住まいまちづくり

目標

未設定
（７月以降懇話会で提示）

基本方向に即した施策の推進にあたり必要な３つの視点

「人材（ひと・プレイヤー）」
「場所」
「資金」

具体な施策

全国計画

住宅政策の方向性

○市場機能の進化を通じて住宅ストックの価値を最大限に活用
○人生100年時代の住生活を支える基盤を再構築

主な取組方策

①ニーズに応じた住宅を適時適切に確保できる循環型市場の形成
②インフラ・居住環境の整った既存の住宅・住宅地の市場を通じた本格的な有効活用
③分野横断的な連携による「気づき」と「つなぎ」のある居住支援の充実
④既存住宅を最大限に活用する持続的な住宅市場を支えるあらゆる主体の連携・協働の推進

視点

「住まうヒト」
「住まうモノ」
「住まいを支えるプレイヤー」

目標

目標１
目標２
目標３
目標４
目標５
目標６
目標７
目標８
目標９
目標10
目標11

記載省略

具体な施策